

主な展示資料

資料名	点数	備考
アンモナイト(バキディクス)	1	竹田吉郎氏寄贈
アンモナイト(ディデモセラス)	1	竹田吉郎氏寄贈
アンモナイト(ゴードリセラス)	1	竹田吉郎氏寄贈
アンモナイト(バキュリテス)	3	竹田吉郎氏寄贈
三角貝(アピオトリゴニア)	2	竹田吉郎氏寄贈
サメの歯	1	竹田吉郎氏寄贈
蛇紋岩	1	渡辺光英氏寄贈
貝化石(ウゴホタテ)	2	沼野達明氏寄贈
黒鉱(吉野鉱山)	一括	大泉製次氏寄贈
黄銅鉱(三永鉱山)	一括	大泉製次氏寄贈
方鉛鉱(八谷鉱山)	一括	大泉製次氏寄贈
黄銅鉱(三治鉱山)	一括	大泉製次氏寄贈
旧満州産植物-ホソバトラノオ・シナタンポポなど	10	林 道子氏寄贈
台湾産植物-タイワンアセビ・ハウチワノキなど	10	林 道子氏寄贈
暖地生の珍しいシダ類	10	林 道子氏寄贈
「満州植物図説」ほか	10	林 道子氏寄贈
ウスイロコノマチョウ	1	大石道明氏寄贈
マダラウスバカゲロウ	1	高山和子氏寄贈
ウスバカゲロウの仲間	6	採 集
カマキリモドキの仲間	4	採 集
オオツノトンボ	2	採 集
ヘビトンボ	1	採 集
ミヤマカワトンボ	3	採 集
ルリボシヤンマ	1	採 集
ダチョウの卵(アフリカ産)	1	吉村卓三氏寄贈
レアの卵(南米産)	1	吉村卓三氏寄贈
エミューの卵(オーストラリア産)	1	吉村卓三氏寄贈
コクチョウの卵	1	吉村卓三氏寄贈
天保十六〔弘仁二〕乙巳年略暦	1	(住吉文書)
明治六年太陽暦(北條氏崑嶮堂)	1	(住吉文書)

資料名	点数	備考
昭和十乙亥年略暦	1	(住吉文書)
天保十六年正月引札(山形書肆・崑嶮堂梓)など暦付引札	10	(住吉文書)
宝珠山立石寺略絵(大正二年)	1	(長井文書)
山寺村〔寺領川原町, 下組〕絵図	1	(長井文書)
羽州山寺立石寺縁起(文化五年)	1	(長井文書)
山寺状(享和元年)	1	(長井文書)
〔慈恩寺前田地絵図〕	1	(長井文書)
慈恩寺縁起并伽藍記(元禄十年)ほか寺社関係資料	10	(長井文書)
飾り溝取り鉋	2	斎藤平太郎氏寄贈
小鉋	3	斎藤平太郎氏寄贈
豆鉋	2	斎藤平太郎氏寄贈
南京鉋	1	斎藤平太郎氏寄贈
ひも面取り鉋	1	斎藤平太郎氏寄贈
罫引き	4	斎藤平太郎氏寄贈
自由曲	2	斎藤平太郎氏寄贈
木曲	1	斎藤平太郎氏寄贈
木製コンパス	1	斎藤平太郎氏寄贈
「義勇奉公」旗	1	斎藤 栄氏寄贈
「大日本国防婦人会」襷	1	秋葉篤太郎氏寄贈
隠明寺凧	1	中山 啓氏寄贈
VTR「戦ふ少国民 春季篇」	1	石島庸男氏寄贈
小学校教材研究	6	伊藤孝蔵氏寄贈
文部時報	4	伊藤孝蔵氏寄贈
帝国少年団協会叢書	6	伊藤孝蔵氏寄贈
創立十周年記念絵葉書	3組	木村 稔氏寄贈
贈正四位清川八郎遺物絵葉書	1組	木村 稔氏寄贈
農家往来(写し)	1	佐藤ふみ子氏寄贈
手紙文言目録	1	佐藤ふみ子氏寄贈
レコード「一つ頂戴さくらんぼ」ほか	1	伊藤文雄氏寄贈
レコード集「合唱指揮の歩み」	1	阿部昌司氏寄贈
昭和初期の児童作品	10	小形利吉氏寄贈
地理授業用分布図	3	小形利吉氏寄贈

新収蔵品展

1989

2月18日(土)～4月30日(日)

山形県立博物館

開催にあたって

この企画展は、博物館の収集・整理活動のまとめとして毎年開催しているもので、この度は昭和63年度中に新しく収蔵した資料や、整理の終わった資料の中から、県民のみならず、興味深い、貴重な資料を選んで展示するものです。

本展を開催するにあたり、資料をご寄贈くださった方々や、収集活動にご協力いただいた方々に、厚くお礼申し上げます。

展 示 解 説

〔地 学〕

和泉層群のアンモナイトとサメの歯の化石 和泉層群は、紀伊半島から四国西部までの中央構造線の北側に分布する中生代白亜紀の地層で、礫岩・砂岩・頁岩の互層からなる海成層です。この地層からは、山形県では産出しない白亜紀のアンモナイトやイノセラムスなどの化石を多数産出します。展示資料は化石採集家・竹田吉郎氏（堺市）が、大阪府泉佐野市周辺の白亜紀後期（約8000万年前）の和泉層群^{あせ にな}畦ノ谷層の頁岩の中から採集したものです。これらはアンモナイトをはじめ、和泉層群からは初めての産出とされる、貴重なサメの歯の化石も含まれています。

山形県内の金属鉱山の鉱石標本 山形県の金属鉱床は、新生代第三紀中新世（約1500万年前）の海底火山活動にともなって形成され、大小数多くの鉱山で鉱石が採掘されていました。現在は経済的事情その他ですべて閉山され、鉱石を直接採集することは不可能となっています。展示資料は、大泉製次氏（山形市）が、山形県鉱業課の技師のときに採集したものです。これらの鉱石は、資源的な価値とともに、当時の地殻変動の特徴を考える上からも貴重な資料です。

〔植 物〕

加藤元助先生の植物標本と蔵書の一部 加藤元助先生は、昭和51年4月、91歳のご高齢で病没なされましたが、終生植物の探求を続けられ、所蔵標本の大部分は、ご生前すでに山形大学農学部にご寄贈なされています。しかしなお残されていた数百点の標本と若干の蔵書は、昨秋、ご遺族から当館にご寄贈していただきました。

標本の大部分は、先生が、昭和8年の夏、満州視察旅行の際に採集なされたもので、そのほとんどが、当時満州植物を専攻しておられた少壮学者・北川政夫氏と京都大学の小泉源一博士の同定を得たものですから、きわめて学術的価値の高いものです。その他のものも、昭和6～7年ころ、台北大学の鈴木時夫・福山伯明・細川隆英の諸氏や、国内他県の研究者との間で交換したもので、現在ではまったく入手不能の珍奇な植物が多く含まれています。

〔動 物〕

ウスイロコノマチョウ（ジャノメチョウ科） 国内では九州以南に分布している南方系のチョウで、県内には分布していません。しかし、遠くまで飛来することが知られており、県内からは今までにもいくつか採集記録がありますが、市街地での発見は珍しいものといえましょう。

ウスバカゲロウの仲間 マダラウスバカゲロウ、コマダラウスバカゲロウ、モイワウスバカゲロウ、ホシウスバカゲロウ、ニセコウスバカゲロウの5種類です。いずれも採集例の少ない種類で、モイワウスバカゲロウは県内から初めて採集されたものです。

カマキリモドキの仲間 キカマキリモドキ、ヒメカマキリモドキの2種類です。この仲間もその県内の分布はよく調べられていません。

外国産鳥類の卵 ダチョウ目の鳥は大形の走鳥類で、ダチョウ科、レア科、エミュー科、ヒクイドリ科などにわかれています。このたびはダチョウ、レア、エミューなどの卵を展示します。

〔歴 史〕

近世末～近代初の略暦と正月引札 日読み（かよみ）の意味の暦（カレンダー）は、いま大部分が七曜表です。日本が公式に太陽暦を採用したのは、1873（明治6）年の元旦からです。明治5年は太陽暦の12月2日で終わりました。「明治六年太陽暦」とその前後の簡略版の暦から、人びとが暮らすのに必要な、年間の月・日・曜日、祝祭日、節気や主な故事と行事についての関心の移り変わりが知られます。なお引札（ひきふだ）は、商品の広告、開店・売上の披露のため配るヒラ（billの訛）です。正月には、略暦入りの引札が配られました。〔住吉文書の一部〕

近世～近代の絵図ほか寺社資料 中世末から始まった寺社詣での風習は、近世にますます盛んになりました。18世紀初頭の元禄年間には、木版刷の最上三十三観音巡礼の案内書が出ています。江戸期半ばには出羽三山の参詣も広く普及し、また古代から人びとが死者の浄土とした立石寺の山寺奥の院や慈恩寺の葉山などの霊山に対する信仰も変わらず続きました。参詣案内書が出され、参詣道中日記が綴られる一方、寺社も縁起や寺領の記録を整備しました。〔長井文書の一部〕

〔民 俗〕

大工道具（指物師用） 大工道具には、家大工用のものや指物師用、建具師用のものなど、実に多種多様のものがあります。このたびは、上市市の斎藤平太郎氏の使用した指物師用道具を展示します。指物師は17世紀後半ころ、家大工から建具師と共に分かれた家具職人です。斎藤氏も家具職人として、机、椅子、裁縫箱、鏡台など、おもに小物類を製作するため、きわめて小型の鉋（かんな）類を創作し使用しました。素材は樺の木です。

「義勇奉公」旗 太平洋戦争中に、出征して行く兵士たちを激励し見送る際に使用した幟で、「宮町第四区組合旗」（山形市）と記されています。そのまま帰らぬ人となった方々も多く、暗く悲しい思い出がよみがえってくる資料です。

隠明寺佩 明治初期、元新庄藩士隠明寺勇象がつくり始めました。30数点の絵柄があり、和紙に描かれる版画です。代表的なものに般若絵がありますが、これは神功皇后と武内宿祢、幼い応神天皇を描いたものです。

〔教 育〕

昭和10～16年の教育関係誌 「小学校教材研究」（昭和10～14）50冊、「文部時報」（昭和11～16）175冊、「帝国少年団協会叢書」（昭和11～13）23冊のうち、それぞれから本県に関係深い記事のあるものを5～6冊ずつとりあげました。教科書（国定四期）の取り扱い、決戦体制のため実現しなかった義務教育8年制の動向、ヒットラーユーゲントの影響による少年団指導の変貌など、当時の教育関係者の考えを知ることができます。

V T R「戦ふ少国民 春季篇」 昭和19年に横浜市西前国民学校の軍人援護教育の様子を撮影した映画をV T Rにしたもので、戦時下の学校教育の姿がまざまざと写しだされています。当館に展示している大曾根国民学校のV T R「戦ふ少国民 冬季篇」の姉妹篇にあたります。この春季篇は、春の新学期を中心に、大都市校の活動を描いたもので、空襲に備えてガラスに目張りをしたものものしい校舎や、授業のかわりに兵器工場部品作りに励む子ども達の姿がうつしだされています。